

## 2018 年症例からの変更 追加分

### 《登録対象》

■ 虫垂の LAMN（低異型度虫垂粘液性新生物）「8480/1」の扱い

→ 虫垂の項で、Tis（LAMN）の分類が追加されたが、該当形態コードが「/1」のため「登録対象外」とする。

浸潤している症例であっても「LAMN」と診断がされている症例は「登録対象外」とする。

■ 子宮内膜の Tis

UICC TNM 分類第 8 版で Tis はないが、Stage では 0 期が残っている。

→ UICC へ質問：「病期の 0 期は、誤記」と回答あり。

がん登録では、子宮体部で上皮内癌と診断された症例については、例外的に「登録対象外」とする。

■ 子宮頸部 SMILE

→ 登録対象とする。

### 《局在コード、形態コード》

■ 肺の AIS

→ 8140/2\_を付与する。

■ 子宮頸部 SMILE（Stratified Mucinproducing Intraepithelial Lesions）

→ 8140/2\_を付与する。

■ 褐色細胞腫（Pheochromocytoma）と傍神経節腫（Paraganglioma）の扱い

→ 2018 年症例から、病理医が「良性」と明記していない限り、すべて「/3」とする。

■ 前立腺癌

UICC TNM 分類第 8 版の G 分類変更に伴う形態コード 6 桁目の決定について。

→ Gleason score を形態コード 6 桁目に反映させず、「8140/39」とする。

【540 付加因子】【640 付加因子】の項目で該当する G 分類を入力する。

■ 頭頸部の原発不明 - 頸部リンパ節転移

→ この症例は、局在コード「C76.0」、形態コード「8070/3\_」を付与する。

EBV などの検査結果は、【540 付加因子】【640 付加因子】の項目で該当する情報を入力。

■神経内分泌腫瘍の形態コードについて

2018年症例から下記の通り区別する。

診断名	現状	臍 (New)	臍以外	備考
NET	—	8150/3_	8240/39	
NET G1	8240/3_	8150/31	8240/31	
NET G2	8249/3_	8150/32	8249/32	
NET G3	—	8150/33	8249/33	*臍の診断で新しくできたもの。 *臍以外でこの診断名の場合、NEC G3とは別のものか確認し、別ということであれば8249/33を付与※
NEC G3	8246/3_	8246/3_	8246/3_	*small cell NEC 8041/3_ *large cell NEC 8013/3_
MANEC	8244/3_	—	8244/3_	

《病期分類》

■食道

UICC TNM 分類第8版の Stage 決定について

→ 腺癌と扁平上皮癌のいずれのステージを付与するかは、別添資料参照のこと。別添資料に該当する形態コードの記載がない癌腫の場合は、T、N、M 各分類は付与し、ステージのみ「該当せず」とする。

■肺の AIS

→ 「Tis」に含めることとする。

■骨腫瘍と軟部組織の病期（ステージ）が提案されていない分類について

→ 骨腫瘍「脊柱、骨盤骨」、軟部腫瘍「頭頸部」「胸部及び腹部臓器」は、G 分類の付与を必須とし、ステージのみ「該当せず」を選択する。

■TUR-Bt 施行症例の TNM 分類の決定について

1) pT は、膀胱全摘・膀胱垂全摘、あるいは TUR-Bt で Ta 病変が全摘されたときのみ付与する。

2) 臨床医が TUR-Bt に記載されている(p)T より小さい cT を記載している場合、TUR-Bt の(p)T を cT にする。

3) 臨床医が TUR-Bt に記載されている(p)T より大きい cT を記載している場合、その cT を採用する。

4) 臨床医が cT を記載していない場合、総合的に判断して cT を付ける。

■悪性リンパ腫の症状分類

→ 非ホジキンリンパ腫は、UICC TNM 分類第 8 版より、《症状分類不要》となったため、非ホジキンリンパ腫は、【540 付加因子】【640 付加因子】の項目で「該当せず」を選択する。

《標準登録様式》

■頭頸部腫瘍の観血的治療について

- 1) 経口的、経鼻的な手術は【720 内視鏡的治療】に含める。
- 2) 経皮的に行われるものは【700 外科的治療】に含める。

■腹腔鏡補助下手術について

→ 腹腔鏡を補助として使用した外科手術は、【710 鏡視下治療】に含める。

■直腸癌の TEM (transanal endoscopic microsurgery : 経肛門的内視鏡的マイクロサージェリー) の扱い

→ TEM は、【710 鏡視下治療】に含める。

■胆嚢管、肝門部胆管、遠位胆管

→ 局在コードが同一 (C24.0) で、病期分類は異なるため、適切な病期分類付与を確認するため、【540 付加因子】【640 付加因子】の項目でチェックするための項目を増設。